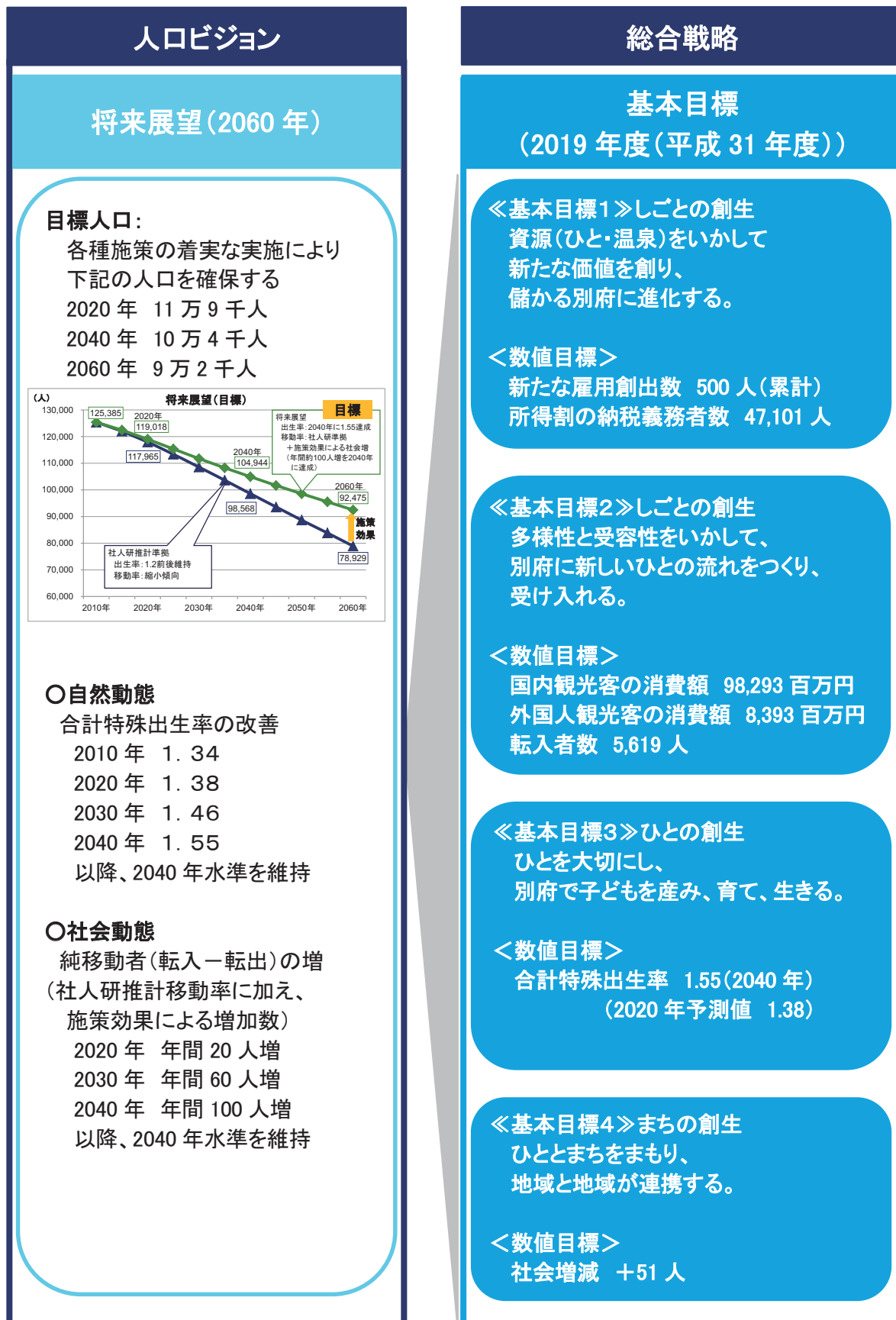


第5 「まちをまもり、まちをつくる。べっぴ未来共創戦略」の全体像

2015年(平成27年)10月に策定した「まちをまもり、まちをつくる。べっぴ未来共創戦略」の全体像は次のとおりである。



目標実現に向けた
基本的方向

- (ア) 市内の産業連携・協働によるしごとの創出
- (イ) あらゆる働き手が働きやすい環境の整備と働き方の改革
- (ウ) 既存資源の徹底活用

- (ア) 観光などによる市内へのひとの流れの更なる促進
- (イ) 本市の魅力をかきた移住の促進
- (ウ) 「生涯活躍のまち」(別府版CCRC)に向けた検討

- (ア) 雇用環境の更なる向上による結婚・出産の推進
- (イ) 女性の子育てと仕事の両立の応援
- (ウ) 郷土への誇りと夢を持つ人材・国際化人材の育成

- (ア) 生活の質の向上による“ひとまもり”と“まちまもり”
- (イ) 文化を切り口にしたまちの可能性の拡大

具体的な施策

- (1) 産業連携・協働プラットフォームによる別府一丸となった活性化
- (2) 大学との連携による若い力や知的資源をかきた活性化
- (3) 今ある豊富な資源を有効活用した新たなしごとづくり
- (4) 伝統工芸を基にしたイノベーション
- (5) 働き方の改革

- (1) 世界一の温泉観光都市への挑戦(新たな観光資源の開発と進化)
- (2) 観光筋力強化に向けた更なる取組
- (3) 別府ブランドの構築と飛躍によるひとの流れの拡大促進
- (4) ひとを呼ぶ新しい魅力の創出
- (5) 交流人口を定住人口へ転換
- (6) 「生涯活躍のまち」にむけた日本版CCRCの推進

- (1) 時代とまちに即した子育て支援の見直し
- (2) 全ての子どもを育む環境の充実
- (3) 別府の未来をつくる人材の育成

- (1) 生活の質の向上実現に向けた整備
- (2) 世界一のユニバーサルデザイン都市への挑戦
- (3) 市民を第一にした行政サービスの実現
- (4) 文化を切り口にしたまちの可能性の拡大
- (5) 地域コミュニティの活性化

基本目標1 しごとの創生

資源(ひと・温泉)をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。

<数値目標>

新たな雇用創出数 500人(累計)、所得割の納税義務者数 47,101人

(1) 産業連携・協働プラットフォームの構築による産業活性化 (p13)

<B-biz LINKによる実施事業の件数(5年間累計):10件>

- ア 産業連携・協働プラットフォームの構築による産業活性化
- イ 産業成長に向けた投資資金の創設

(2) 大学との連携による若い力や知的資源をいかした活性化 (p14)

<別府iBリーグの図書館共通カードの発行枚数:12,800枚>

<別府iBリーグ参加校の学生が市内企業に就職した人数:目標値未設定>

<別府iBリーグ参加校が開催した市民向け講座の受講者数:4,800人>

- ア 学生の地元就職による定住の促進
- イ 学生などの起業支援の強化
- ウ 「別府iBリーグ」による大学連携の促進と地域協働の推進

(3) 今ある豊富な資源を有効活用した新たなしごとづくり (p15)

<「おんせん電源ステーション」の設置数:1箇所>

<政府関係機関等の移転誘致に関する交渉件数:1件>

- ア 「おんせん電源ステーション(地熱発電)」構想の実現
- イ 地熱を活用したビジネス展開の検討
- ウ 政府関係機関等の移転誘致

(4) 伝統工芸を基にしたイノベーション (p16)

<竹細工製作者数(組合員数):60人>

<「竹の教室」参加者数(5年間累計):180人>

- ア 竹産業のイノベーション

(5) 働き方の改革 (p17)

<女性の新規従業者数:250人(累計)>

<テレワーク導入団体数:10団体>

<女性の活躍に配慮した取組を行っている団体数:100団体>

- ア 市内企業の働き方の多様性の推進
- イ 女性が働きやすい環境整備

※項目の後の()内は、未来共創戦略の掲載ページを記載している。

項目の下の< >内は、各項目の重要業績評価指標(KPI)を記載している。

以降、各基本目標についても同様である。

基本目標2 しごとの創生

多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れを創り、受け入れる。

<数値目標>

観光客消費額 98,293 百万円(国内)、8,393 百万円(外国人)、転入者数 5,619 人

- (1) 世界一の温泉観光都市への挑戦(新たな観光資源の開発と進化(p18))
 - <国内観光入込客数:8,036千人><外国人観光客数:420千人>
 - <宿泊観光客数:2,530千人>
 - ア 「赤銅御殿」の復活
 - イ 竹製品(伝統工芸)を使ったおもてなしの促進
 - ウ 「東洋のブルーラグーン(仮称)」の開発
 - エ 外国人観光客増加に向けた受入環境整備
 - オ 「世界温泉サミット」の開催
 - カ 別府の温泉観光文化の歴史を踏まえた持続可能な集客力のある温泉リゾート都市づくりの推進
 - キ ユニバーサルデザイン旅行の先進地に向けた整備
 - ク 二次交通の利便性向上
- (2) 観光筋力強化に向けた更なる取組(p20)
 - <国内観光客の平均単価:(宿泊客)27,163円、(日帰り客)6,661円>
 - <外国人観光客の平均単価:(宿泊客)22,078円、(日帰り客)10,167円>
 - ア 別府版DMOの設立に向けた検討
- (3) 別府ブランドの構築と飛躍によるひとの流れの拡大促進(p21)
 - <市ホームページ年間アクセス件数:12,304,134件>
 - <海外からの市ホームページ年間アクセス件数:978,215件>
 - <別府市役所NY支店数:1箇所>
 - ア 「広告戦略室」及び「広告戦略官」の創設
 - イ 別府市役所NY支店開設
- (4) ひとを呼ぶ新しい魅力の創出(p22)
 - <全国規模のスポーツ大会の年間開催数:31件>
 - <2020年オリンピックの事前キャンプ誘致数(5年間累計):1件>
 - <湯治をいかした新たな観光コンテンツ数:1件>
 - ア 学生大同窓会「学生サミット」の開催
 - イ ユニバーサルデザインに関連したイベントの推進
 - ウ 湯治をいかした新たな観光の推進
 - エ ビーチを利用したイベントの推進
 - オ 公道レースやサイクリングなどの様々なスポーツイベントの開催推進
- (5) 交流人口を定住人口に転換(p23)
 - <移住・定住に関する問合せ件数:300件>
 - <空き家バンクの成約数(累計):20件>
 - <お試し移住の参加者数:30人>
 - ア ハーフ住民登録制度の検討
 - イ 長期滞在に対応可能な態勢の整備
 - ウ ふるさと納税を入り口にした訪問者増加の推進
 - エ 移住促進に向けた積極的な取組
- (6) 「生涯活躍のまち」に向けた日本版CCRCの推進(p24)
 - <日本版CCRCの取組状況:未設定>
 - ア 日本版CCRCの実現に向けた検討

基本目標3 ひとの創生

ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

＜数値目標＞

合計特殊出生率 1.55(2040年目標値、なお2020年予測値は1.38)

(1) 時代とまちに即した子育て支援の見直し (p25)

＜幼稚園の預かり保育の実施人数:210人＞

＜放課後児童クラブの定員数(登録児童数):1,507人＞

- ア 安心して子どもを預けられる環境整備
- イ 仕事と子育ての両立支援
- ウ 子育て世帯の経済的負担の軽減
- エ 子育てに関する援助の見直しと産業振興への発展

(2) 全ての子どもを育む環境の充実 (p26)

＜子育て支援拠点施設の年間利用者数:69,609人＞

＜小・中学生の1人平均むし歯本数:0.8本＞

＜子育て関連ボランティア参加数(ファミリー・サポート・センター登録者数):227人＞

- ア 「送迎保育ステーション」の整備
- イ 子どもの健康促進
- ウ 地域の子育て力の強化
- エ インターナショナルスクール等の開設の検討

(3) 別府の未来をつくる人材の育成 (p27)

＜国際理解教室の参加者数:2,530人＞

＜別府学資料(インターネット動画等)の年間閲覧数:4,000件＞

- ア 国際人材の育成強化
- イ 別府の歴史・文化を伝える「別府学」を学ぶ環境の整備
- ウ 子どもの教育の質の更なる向上
- エ 地域貢献人材の育成

基本目標4 まちの創生

ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。

<数値目標>

社会増減(転入者数－転出者数) +51人

(1) 生活の質の向上実現に向けた整備 (p28)

<ワンコインバスの取組状況:未設定>

<ビーチを活用した年間イベント開催数(新規分):6件>

<遊休公有財産(土地・建物など)の有効利活用の実施件数:93件>

ア 生活利便性向上に向けたワンコインバスの整備

イ 遊休施設・場所などの有効利活用

ウ 遊休市有地等を有効利活用した農業等の産業振興の推進

エ ビーチや公園活用やスポーツ振興などによる生活の質向上の推進

オ 地方百貨店との連携によるにぎわい創出

(2) 世界一のユニバーサルデザイン都市への挑戦 (p30)

<「赤ちゃんの駅」登録施設数:30箇所>

<大分バリアフリーマップの登録数:600件>

ア 世界一のユニバーサルデザイン環境に向けた整備

イ ユニバーサルデザイン企業との協働・連携

(3) 市民を第一にした行政サービスの実現 (p31)

<窓口改革の取組状況:未設定>

<市職員のテレワーク活用割合:未設定>

ア 窓口改革を始めとした行政サービス改革の実施

(4) 文化を切り口にしたまちの可能性の拡大 (p32)

<一般公開された図書館(学校図書館を含む)の利用者数:172,754件>

<市民が一般利用可能な読書スペース数:6箇所>

<芸術版トキワ荘プロジェクトの企画数:5件>

ア しいきアルゲリッチハウスの運営協力

イ 芸術があふれるまちづくり

(5) 地域コミュニティの活性化 (p33)

<伝統的なまつりの復興等に関する取組件数:3件>

<防災訓練の参加者数:6,000人>

<外国人留学生の防災訓練参加者数:52人>

ア 地域振興を目指す「まつり」の推進

イ 地域コミュニティ拠点の整備による交流活性化

ウ 「顔の見える」防災組織の立ち上げ